

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公表番号】特表 2002-518644 (P2002-518644A)

【公表日】平成 14 年 6 月 25 日 (2002.6.25)

【出願番号】特願 2000-555011 (P2000-555011)

【国際特許分類】

**F 1 6 D 3/74 (2006.01)**

**A 6 1 M 5/142 (2006.01)**

**F 0 4 B 53/00 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 D 3/74

A 6 1 M 5/14 4 8 1

F 0 4 B 21/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 13 日 (2006.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 回転駆動力を第 1 軸 (38) から第 2 軸 (40) へ伝えるための弾性軸継手組立体であって、前記弾性軸継手組立体が、

(a) 概ね長いエラストマー部材 (42) であって、

(i) エラストマー部材の一方の端部に配され、かつ第 1 軸 (38) を覆って締め嵌めをもたらすような大きさにされた第 1 孔 (74) と、

(ii) エラストマー部材の反対側の端部に配され、かつ第 2 軸 (40) を覆って締め嵌めをもたらすような大きさにされた第 2 孔 (80) と

を有しているエラストマー部材 (42) と、

(b) エラストマー部材の外面を覆って締め嵌めをもたらす大きさにされた中央開口を有しており、かつ、エラストマー部材に対して、第 1 軸 (38) および第 2 軸 (40) のうちの少なくとも一方でエラストマー部材を保持し、その結果、これらの軸 (38、40) がエラストマー部材を介して互いに連結される、圧縮力をもたらす長いスリーブ (86) とを備え、スリーブ (86) の外面が、エラストマー部材の中心軸に関して変化する半径での箇所の軌跡を規定する輪郭を有するカム面 (96) を備え、

前記弾性軸継手組立体がさらに、

(c) スリーブ (86) が貫通して延びるほぼ四辺形の開口を有するリンクを備えており、前記リンクは、スリーブ (86) が回転するとスリーブ (86) のカム面 (96) に乗り上げる、弾性軸継手組立体。

【請求項 2】 エラストマー部材 (42) が、横断して延びるウェブ (98) を含み、かつ、第 1 孔 (74) と第 2 孔 (80) との間に配置されている請求項 1 に記載の弾性軸継手組立体。

【請求項 3】 スリーブ (86) とエラストマー部材 (42) の外面とのうちの少なくとも一方が、従動軸 (40) の位置をキー止めするために心合わせ溝を含んでいる請求項 1 に記載の弾性軸継手組立体。

【請求項 4】 別のスリーブ (86) とエラストマー部材 (42) の外面とが、心合わせ溝の内部に嵌まるような大きさにされた心合わせリッジを含んでおり、前記心合わせ

溝および心合わせリッジが、互いに協働して、エラストマー部材とスリーブ（８６）との間に締め込みをもたらす請求項３に記載の弾性軸継手組立体。

【請求項５】 リンクは、カム面（９６）が四辺形開口の一方側部に乗り上げると、スリーブ（８６）から離れる方向へ移動するように駆動されるプランジヤー（５６）に連結される請求項１に記載の弾性軸継手組立体。

【請求項６】 スリーブ（８６）が、剛性材料の上に成形されるエラストマー材料からなる請求項１に記載の弾性軸継手組立体。